

橋本家の

令和4年度 家計簿報告

ここでは、市の普通会計*の決算を、ある一般家庭の家計（わが家の家計）に置き換えてみるとどうなるのかについて説明しています。

わが家の家計における金額は、市の決算額をその年度の1月1日時点の市の住民基本台帳登録者数（令和5年1月1日 60,295人）で割ったもので、「今月」は令和4年度、「先月」は令和3年度を表現しています。【財政課】

*普通会計…一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・墓園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計の4会計をあわせたものです。



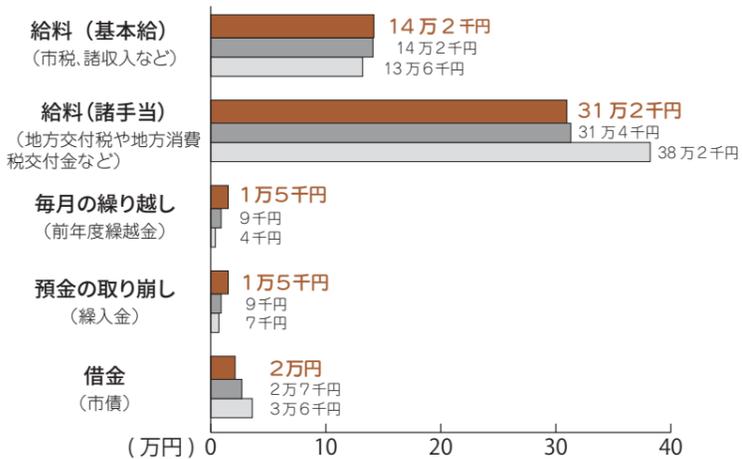
収入

令和4年度 **50万4千円**

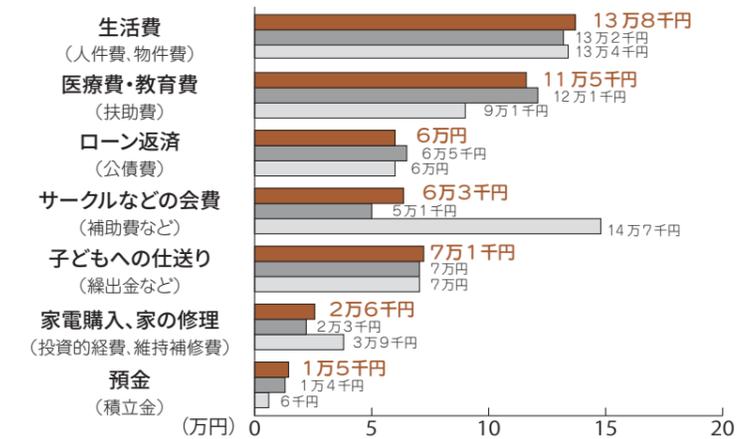
令和3年度 50万1千円 令和2年度 56万5千円

今月の収入をしてみると、給料が先月から若干減少しています。基本給はほぼ変わりませんが、諸手当が減っているため、全体では若干少なくなっています。

また、お給料以外の収入では、預金の取り崩しが増えていますが、借金は少なくなっており、今月はお金の借入に頼る部分がやや少なくなったといえます。



支出



令和4年度 **48万8千円**

令和3年度 47万5千円 令和2年度 54万6千円

支出をしてみると、医療費・教育費などとローン返済が減っています。これは先月あった扶助費（子育て特別給付金など）や公債費（猶予特例債）が今月は少なかったためです。そのほかの支出は、物価上昇の影響もあり、全体的に増えています。そのため、合計で支出は増えました。



語句の説明

- 地方交付税 どの市町村でも一定の行政サービスを行えるように、国から交付されるお金
- 市債 財政負担の平準化や世代間の負担の公平性などを図るため、国などから借入れたお金
- 物件費 人件費、維持補修費、扶助費、補助費などを除く消費的な性質のあるお金
- 扶助費 生活困窮している人、子育て世帯、障がい者などの生活を支援するためのお金
- 公債費 市の借入金の返済に使うお金
- 投資的経費 道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅などに使うお金
- 維持補修費 市が管理する公共施設などの維持に使うお金

今月のかけ橋人

壊れても治せます

かける 橋本人

ボランティアでおもちゃを治す、はしもとおもちゃ病院

柏木 毅さん（城山台）

定年退職後、何か地域の役に立てないかと考えている時に、ボランティアでおもちゃを治す、おもちゃ病院のことを知りました。もともと壊れた物を工夫して直すのが好きだったので、3年間の研修を経て、はしもとおもちゃ病院を開きました。現在は15人のメンバーと一緒に活動しています。壊れてしまった大好きなおもちゃが治って、満面の笑顔で喜び子どもたちを見ると、とても幸せな気持ちになります。

おもちゃ病院の活動を皆さんに知っていただいて、もっと多くの壊れたおもちゃを病院に持ってきてほしいです。

目次

CONTENTS

- 3 特集 令和4年度決算報告
- 8 特集 まっせ・はしもと
- 10 特集 地域産業を支えるはしもとブランド
- 12 特集 人権が尊重されるまちを目指して
- 14 特集 LINEの追加機能紹介
- 15 情報ワイド
▶ヤングケアラー相談窓口
▶高野口地区公民館の遠隔窓口
▶マラソン・ジュニア駅伝 など
- 21 情報ひろば
- 28 タウン情報
- 29 子育てぱーく
- 30 本のひろば
- 31 健康カレンダー
- 32 フォトトピックス

今月の表紙



SDGs はしもと環境フェアのリユース市で、おもちゃを選んでいる親子の様子。

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました
 ……4億777万8千円
 令和3年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施しました。令和4年度は集団接種を36回開催し、集団接種による接種件数は6,706件、個別接種による接種件数は50,999件でした。



■緊急自然災害防止対策事業を実施しました
 ……2,178万1千円
 台風などによる自然災害の防止のため、大谷川の護岸整備工事や学文路地域における浸水対策工事、ポンプ場築造工事を行いました。

■原田文化センターの大規模改修を行いました
 ……3,498万9千円
 建築から30年が経過していた原田文化センターについて、陸屋根の防水や外壁の塗装など、施設を長寿命化するための大規模改修工事を行いました。

■防犯カメラ設置補助金事業を実施しました
 ……32万7千円
 地域住民の安全確保と犯罪抑止のため、防犯カメラを設置しようとする区・自治会に対して、補助金を交付しました。

■SDGs交付金事業を行いました
 ……5,729万9千円
 住民自治の振興と市民協働によるまちづくりを推進するために、市内の区・自治会を対象に、持続可能な地域コミュニティ発展のための交付金を交付しました。

■防災対策指針策定事業を実施しました
 ……1,438万8千円
 各種防災マニュアルに新型コロナウイルスなどの感染症の流行期における対応を盛り込み、避難所開設時など本市で想定される災害に備え、慌てず適切に行動できるようマニュアルの更新を行いました。
 また、本市における10年先を見据えた災害情報伝達の在るべき姿を検討し、「橋本市災害情報伝達基本方針」を取りまとめました。

■消防庁舎防災機能強化緊急整備工事を行いました
 ……4,808万2千円
 災害時の消防庁舎機能確保のため、浸水対策および感染症対策に必要な整備工事を行いました。電気設備などの上層階への移設と高上げなどを実施し、消防庁舎の防災機能強化を図りました。



橋本消防署

令和4年度に実施した主な事業

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■ふるさと橋本応援寄附金（歳入）
 ……4億9,118万2千円
 市の魅力や地域産品を全国にアピールし、ふるさと納税による歳入の確保に取り組みました。令和4年度は、関東を中心に全国から40,319件（前年比139%）のふるさと納税をいただきました。



▲橋本市の特産品（ぶどう・柿）

■転入夫婦に新築住宅取得補助金を交付しました
 ……900万円
 子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、新築住宅を取得して転入する40歳未満の夫婦に対して補助金の交付を行いました。令和4年度では、96人がこの補助金を受けて転入しました。

■地域産品のブランド化を推進しました
 ……1,238万6千円
 地域産品のブランド化を進めるとともに、販路の開拓・拡大を支援するため、新商品開発や販路開拓を行う事業者に対して補助金を交付しました。
 また、首都圏の飲食店へ本市産品を提案し、提供する料理に使用してもらうなどのPR活動を行いました。

■サイクルツーリズム観光活性化プロジェクト事業
 ……99万4千円
 橋本市観光振興アドバイザーに委託し、InstagramなどのSNSで橋本市の魅力を発信しました。
 また、令和3年度に作成したサイクリングロードマップの周遊コースに林道コースを新たに追加しました。

■はしもとふるさと便事業
 ……1億817万7千円
 全国のできるだけ多くの人に橋本市産の農産物を購入してもらうために、農産物の配送にかかる送料について補助金を交付しました。

■工業団地造成工事を進めました
 ……1億1,241万3千円
 南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市が共同で開発を進めている工業団地「あやの台北部用地」（第1次事業）について、昨年度に続き造成工事を進めました。



橋本市の財政指標

財政状況を示す財政健全化判断比率（右表）では、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の財政力指数や経常収支比率では、和歌山県内の他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

財政力指数 0.448
 標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合
 （数値が高いほど財政に余裕がある）

経常収支比率 99.3%
 市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合
 （数値が高いほど財政にゆとりがない）

県下9市中
6位
平均0.507

県下9市中
7位
平均95.4%

財政健全化判断比率

指標	内容	橋本市	危険信号	早期健全化基準 ^(※)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし		12.67%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし		17.67%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	12.7%		25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	49.3%		350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取り組む必要があります。

一般会計の決算状況

収入	301億5,677万円	支出	291億4,109万円
----	-------------	----	-------------

公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

会計名	収入	支出	差し引き	
水道	収益的収支	18.8億円	17.0億円	1.8億円
	資本的収支	0.5億円	4.4億円	△3.9億円
下水道	収益的収支	17.3億円	16.9億円	0.4億円
	資本的収支	12.0億円	15.5億円	△3.5億円
病院	収益的収支	85.9億円	84.0億円	1.9億円
	資本的収支	9.0億円	11.2億円	△2.2億円

特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	収入	支出	差し引き
国民健康保険	73.1億円	72.3億円	0.8億円
住宅新築資金等貸付	1,023万円	709万円	314万円
駐車場	243万円	201万円	42万円
墓園	3,427万円	3,162万円	265万円
農業集落排水	1.13億円	1.09億円	0.04億円
土地区画整理	2.6億円	2.6億円	0円
介護保険	68.0億円	65.1億円	2.9億円
後期高齢者医療	19.7億円	18.9億円	0.8億円
工業団地造成	11.2億円	11.1億円	0.1億円

新型コロナウイルス感染症などに対応する経済支援

■物価高騰対策として市内事業者へ支援金を給付しました

1億4,777万円
新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格の高騰や物価高の影響を受けている市内中小企業や個人事業主、農業者の負担軽減を図るため、支援金を給付し事業活動の継続を支援しました。

- 農業法人、農林業経営者…農林振興課
- 公的サービス提供事業所…福祉課、介護保険課、いきいき健康課、こども課
- 上記以外の事業者…シティセールス推進課



■住民税非課税世帯などへ価格高騰緊急支援給付金を支給しました

3億2,780万円
長期化するコロナ禍の状況を踏まえ、さまざまな困難に直面する世帯への支援のため、国の制度に基づく給付金として、住民税非課税世帯などに対し、1世帯につき5万円、6,556世帯分を支給しました。

■橋本市生活応援クーポン券を発行しました

2億9,484万円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭や地域経済を支援するため、1人当たり5,000円分（地域店舗限定分2,500円、加盟全店舗共通分2,500円）の「みんなで支えあい橋本市生活応援クーポン券（第二弾）」を発行しました。



◀地元店舗限定分

▶加盟全店舗共通分



持続可能な財政構造を目指して

今後の行政運営においては、高齢化の進展や医療費などの社会保障関係経費のさらなる増加が予測される中で、老朽化の進む公共施設やインフラの整備・改修など、計画的な財政運営がより一層求められます。

本市では、令和4年度から5カ年を計画期間とした「橋本市中期財政計画」を策定し、将来の財政収支を明らかにした上で、橋本市の収入に見合った適正で健全な財政運営に努めています。

質の高い行政サービスを提供し続けていくため、市が持つ限られた人的・物的資源を効率的・効果的に活用することで、持続可能な行政運営の実現を目指していきます。



ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

■小・中学校の大規模改修工事の設計を行いました

2億1,771万6千円
小・中学校の長寿命化改良工事やトイレ改修工事を継続して行なっています。令和4年度は、城山小学校の長寿命化改良工事、紀見小学校の外壁改修工事、恋野小学校のトイレ改修工事の工事設計を行いました。



▶紀見小学校外壁工事

■公民館・郷土資料館建設事業に取り組みました

2,316万6千円
紀見地区公民館・郷土資料館・あさもよし歴史館を統合した複合施設建設のため、設計監理委託料を支出しました。



▲紀見地区公民館・郷土資料館イメージ図

■（仮称）紀見こども園整備事業に取り組みました

158万4千円
令和7年4月開園予定の（仮称）紀見こども園の整備計画に伴い、旧柱本幼稚園解体工事および（仮称）紀見こども園新築工事を実施するための設計監理等委託料を支出しました。

■子どもたちがパソコンを使える環境を整えました

4,842万1千円
小・中学校の児童生徒が、1人1台の学習用コンピュータ（タブレット端末）を用いて授業を受けることができる環境を維持するため、光回線の使用料や端末の運用保守委託料などを支出しました。

■子ども医療費無償化の範囲を拡充しました

1億155万3千円
子どもの健康の保持および増進のため、小学校就学から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもの医療費を助成しました。令和3年度までは中学生までが対象でしたが、令和4年10月から対象年齢を18歳までに拡充しています。



■市内学童保育所を移転し、運営費を補助しました

1億9,800万4千円
校舎から遠距離にあった柱本地区学童保育所を柱本小学校舎内に移設しました。また、市内24カ所の学童保育所へ運営費を補助しました。

市債と基金

特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して9億円増加し、52億円（うち財政調整基金31億円）となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金（市債）残高は、前年度と比べて21億円減少し、442億円となりました。

